

カトリック河原町教会だより

2013年11月

死者のために祈ります

10月13日(日)10時半のミサ後、有志による衣笠墓苑の清掃奉仕が行われました。衣笠教会から10分ほど登った左大文字山の中腹に墓地、納骨堂、合同納骨室があります。

「死者の日」の11月2日(土)午後6時半から河原町教会聖堂で、帰天された方の遺影を飾り、合同追悼ミサが行われます。

11月は死者の月

カトリック教会では、毎年11月2日が「死者の日」と定められ、亡くなったすべての方のためにミサがささげられます。諸聖人の祭日(11月1日)の翌日にすべての死者を記念するこの習慣は、998年クリュニー会の修道院長オディロンによって始められ、これがフランス、イギリス、ドイツなどに広まり、ローマには13-14世紀ごろ伝わったとされています。



待降節黙想会

「キリストの光に
照らされて」

2013年12月21日(土)

午前10時～午後4時

指導司祭

阿部 仲麻呂 神父

(サレジオ会)

場所 河原町教会聖堂

10:00-11:00 第1講話
11:00-12:00 個人黙想
12:00-13:00 昼食(各自)
13:00-14:00 第2講話
14:00-15:00 個人黙想
15:00-16:00 ミサ

※聖書、筆記用具を持参してください。

※個人黙想の間にゆるしの秘跡を受けられます。

※昼食は各自でお願いします。
(1階集会室を使用できます。)

レクチオ・ディヴィナによる分かち合い

毎月第3火曜日に行われている「レクチオ・ディヴィナ(lectio divina)による主日の福音の分かち合い」について、指導司祭として説明します。

レクチオ・ディヴィナとは、主に聖書などをゆっくりと数度、繰り返し読み(あるいは聴き)、今読まれているみことばを神様からの語りかけとして、今置かれている状況の中で受け止めるという黙想です。この集いでは具体的に以下のようなことを大切にしています。

- 1.STATIO(神様のみ前に立つ):一旦、日常生活(仕事、家事など)を置いて神様に心を開く
- 2.LECTIO(みことばを読む/聴く):数回祈りの心で朗読する/聴く
- 3.ORATIO(祈る):①神様からの語りかけを願う/聴く ②心に留まった聖句を繰り返し唱え、味わう
- 4.CONTEMPLATIO(観想する):みことばを通して神様は今のわたしたちに何を語られているのか



5.ACTIO(生きる):みことばを通して語りかけられた神様からの呼びかけにどう応えていくのか

レクチオ・ディヴィナをより深く理解するために、名誉教皇ベネディクト16世の言葉を紹介します。

「聖アウグスティヌスは神の神秘を黙想することを食物を消化することにたとえます。彼はキリスト教の伝統を通じて見られる咀嚼(そしゃく)する(ruminare)という動詞を用いています。神の神秘はたえずわたしたちのうちで響き渡らなければなりません。神の神秘がわたしたちの生活を導き、わたしたちの糧となるためです。それは、食物が、わたしたちの健康を保つために必要であるのと同じです」(『イエスの祈り』)。

この集いに参加される方が、みことばを深く味わい、日々の生活の中で神様が語りかけて下さっているということに気づき、その思いを深めることができるように願っています。

洛東ブロック担当司祭 鶴山 進栄

ウォーカーソン支援

第34回京都南部ウォーカーソンの支援先の一つであるノートルダム教育修道女会のネパール、バンディプール村における教育活動の状況について、シスター鎌田論珠にお聞きしました。

■30年前から

ノートルダム・ネパールミッションは1983年に始まり、今年がちょうど30年目に当たります。1985年、バンディプール村にネパールノートルダム校を開設し、現在では幼稚園から短大まで約800名が学ぶ学校になりました。



ノートルダム ネパール校の変遷

■バンディプール村は

バンディプール村は首都カトマンズから西へ115キロ。昔からインドに通じる交通の要衝で、その昔は交易の町として栄えた古都です。道路は整備されたものの、カトマンズから車で約6時間、標高1,000メートルの高地にあります。北にはアンナプルナ連峰がそびえています。

■教育支援3つの柱

1)学校教育と奨学金制度……公立学校による教育が十分ではありません。首都から離れた山村での優れた学校の存在は、一つの村だけでなく、地域全体の子どもの教育の場として大きく貢献しています。

ノートルダム教育修道女会の

ネパール、バンディプール村での教育活動



12年生たち

また、多くの子どもたちが奨学金により教育を受け、育っていきました。優秀な成績で12年生を終了した女子生徒ダン・マヤさんは、「家族はとても貧しく高等教育を受けることができない状況でしたが、奨学金をいただき、図書室の本を借りることもでき、本当にありがたく感謝しています。私は国の発展や人々に役立つ仕事ができるように、もっともっと勉強したいと思っています。これからもよろしくお願ひします」と語っています。



セトグラス保育園

2)チャイルド・ディヴェロップメント・センター……乳幼児期に、両親が忙しくて放置されていたために、心身の発達が阻害され勉強についていけない子どもたちのために、セトグラス(ネパール語で白ジャクナゲ)保育園を始めました。ここでの保育、教育効果が周辺

の村々に広まり、村人たちの自助努力による保育園は9か所になりました。教育ノウハウの提供や研修会、資材やおやつ代の補助を行っています。

栄養のあるおやつと、先生や保護者、子ども同士の触れ合いによって、子どもたちは見違えるほど健やかに成長しています。人との交わりが豊かな情操を育てています。

3)スタディー・センター……一間だけの家に大勢の家族が住んでいる家庭では、子どもは家の手伝いに追われ、スペースもないために家での学習ができません。このような子どもたちのために場所を借りて、学校を卒業したばかりの若い先生に手伝ってもらい、勉強ができる環境を提供しています。

■ご支援に感謝

山村では現金収入が少なく、両親が働きに出かけている間、女の子は子守りや薪集めという生活に追われています。従って、識字率も低いのが現状です。

皆様からのご支援は、幼児への栄養のあるおやつになり、教材や遊具となり、奨学金としてネパールでの最高教育を受ける資金になっています。皆様のご支援に心から感謝します。



いきいき明るい笑顔

のメールアドレスに関しては、花井師の指導のもと編集部で検討する。

教育部 ①十月二十六日(土)の土曜学校で、ノートルダム教育修道女会のシスターによるネパールでの教育支援活動の報告がある。②十月二十七日、十一月三日の七時と十時半ミサ後、ウォーカーソンのボランティアを募集する。③待降節黙想会のポスターができあがった。④青年のための黙想会教区信仰教育委員会主催が十二月十四日、十五日に望洋庵で行われる。指導は溝部司教様。⑤十月二十九日のユースト高山右近列福祈願金沢市内右近閣連史跡巡礼ツアーは定員に達した。

□行事計画(四頁に記載の通り)。
□協議事項

①外部団体の教会施設使用に関するガイドラインができあがった。

②ミサ中の「教会からのお知らせ」は、ミサと教会維持活動関連のコメントに限定し、それ以外のお知らせは司祭退堂後とする。

③部会再登録、部員募集説明会のための資料が整った。十一月の主日のミサ後各部から説明を行う予定。

④役員二名の任期満了に伴う二〇一四年度役員二名の選出を行う。

⑤クリスマス実行委員会報告

・ポスターは修正作業中。
・チャリティコンサートにノートルダム小学校の合唱団、聖母学園のハンドベル、トランペットとオルガンの共演等の出演が決まった。

・設置、飾り付けについては部会ごとの分担ではなく、信徒から協力奉仕をしてくださる方を募集する。

司祭紹介

キム テ ジョン
ペトロ 金 泰政 神父 (チェジュ 濟州教区司祭)

1980年11月27日 濟州市生まれ(33歳)
 2010年1月9日 濟州中央教会(カテドラル)で司祭叙階

今年2月に姉妹教区である韓国濟州教区より日本に派遣され、現在、日本語を学びながら、教区内の教会やコリアンセンターで、ミサ奉仕等を行っています。来日は神学生、助祭のときに続き3度目。濟州教区からは、夫英豪(ブ・ヨンホ)神父様、崔聖煥(チェ・ソンファン)神父様(両神父とも京都南部地区京丹ブロック担当)の二人の司祭が奉仕されています。

金泰政神父様に韓国のカトリック事情についてお話を聞きました。

■カトリックが韓国に入ってきた経緯は

国によってそれぞれ事情が異なると思

いますが、韓国では長い間、外国人の入国が禁止されている時代が続きました。そのため、韓国でのキリスト教は、最初、宣教師によるものではなく、本などの書物によってもたらされました。日本と同じように殉教者も多くいます。

■日本のカトリック信者数は約44万人で、総人口に占める割合は0.35%ですが、韓国のカトリック信者の占める割合は

韓国の現状はカトリック10%、仏教徒50%、プロテスタント20%、無神論者10%くらいです。日本のカトリック信者の割合が少ないのは、日本では古来、さまざまなものに神の存在を感じ信仰の対象にしてきたからではないでしょうか。日本人は信心深い民族だと思います。

■濟州教区の小教区での福音宣教活動の状況は

信徒の皆さんが自分たちで教会を盛り上げていこうという意識が強いと思います。レジオ・マリエや、アボジ会



という男性の集まり、小・中・高生や大学生の活動も活発です。また、司祭は信徒の家庭を訪ね、いくつかの家族が集まって共に祈り、分かち合いをしています。

■信徒も入門講座を担当

韓国では入門講座の講師を司祭やシスターだけでなく、信徒も行います。信徒の方なら誰でもというわけではなく、教える資格を持っていることが条件です。洗礼を受けた方が、2年くらいそのための勉強をして資格を取ります。教えることを通して信仰がさらに深められ、福音宣教への意識が高まっています。



金神父様へのインタビュー

■信徒の皆さんへのメッセージ

新しい教皇様はフランシスコという名前を選ばれ、貧しい人に奉仕しようと呼びかけておられます。河原町教会の皆さんとともに貧しい人のために何が出来るかを一緒に考え、行動し、祈りたいと思います。わたしは、まだ日本語でうまく表現できませんが、心はいつも皆さんと一緒にいます。

カトリック信者536万人(韓国の教会統計)

韓国司教協議会の発表によると、韓国のカトリック信者は昨年の12月末の時点で約536万人。総人口の10.3%を占めている。2008年にカトリック信者数が500万人を突破し、09年に総人口の10%を超すようになった。1年間の受洗者は約13万2千人。幼児洗礼は約2万5千人。また昨年1年間に131人の新司祭が誕生した。

(カトリック新聞2013年6月9日号より)

河原町教会十月評議会報告要約

開催日 二〇一三年十月六日(日)

□司祭団より

①、レント河原町商店街振興組合のクリスマスイベントへの協力。

・十二月七日(土)教会会前庭で、「のきさき市(ミニチャリティバザー)」が行われ、クリスマスイルミネーションの点灯式では聖歌隊が聖歌奉仕する。

②大日山墓地は京都教区としての管理は行わず、個人管理になる。

③衣笠墓苑にゲートが新設される。

④教会正面玄関が一般の人には入りにくい印象なので改善を検討。

⑤地下6番の部屋を整理し、ヴィリオンホールでの催事の際の机、椅子の収納スペースとし、避難経路を確保する。

□各部報告

■典務部 ①初めてのブロック典務部合同部会が九月十四日に開催された。②聖堂整理係が人手不足。③祭壇床の一部にくぼみがあり補修を検討。

■財務部 ①エレベーター設置、会館配水管工事修築特別献金は目標額の六十%を超えた。②部員の補充を行う。③二〇一四年度の予算と二〇一三年の実績報告を十一月十七日まで提出すること。

■施設管理部 ①教会財産管理データは会館三階と聖堂地下の各部屋を完了し、九月三十日、財務部に提出した。②教会美化デーには多くの方に「奉仕したい」と。

■広報部 ①教会へ初めて来た人のためのリーフレットは、各方面の情報を集め検討中。②イクトウスの保管用製本と余分な冊子の処理をほぼ完了。③部会用掲示板はこれから検討。④「教会だより」

はこれから検討。④「教会だより」

●2013年11月～2014年1月の行事予定●

(12月、1月は予定です。変更の場合があります。)

祝・記念日		行 事 予 定
11/1	金	諸聖人の祭日
11/2	土	死者の日 合同追悼ミサ 午後6時半
11/3	日	教区合同墓参 衣笠教会追悼ミサ 午後2時 / 大日山墓地墓参
11/4	月	振替休日 第34回京都南部ウォーカーソン
11/9	土	評議会11月例会 午後2時
11/10	日	七五三お祝い 10時半ミサ
11/30	土	2014年度教会役員選挙投票日
12/1	日	2014年度教会役員選挙投票日 / 評議会12月例会 溝部脩司教様霊名のお祝い 10時半ミサ
12/15	日	クリスマスチャリティーコンサート 午後3時
12/21	土	待降節黙想会 10時 聖堂
12/22	日	教会美化デー
12/24	火	クリスマス市民の集い 午後6時半 / 主の降誕夜半ミサ 午後9時
12/25	水	主の降誕 ミサ 7時 10時半
1/1	水	神の母聖マリア 元日ミサ 7時 10時半
1/5	日	主の公現 評議会1月例会
1/12	日	主の洗礼
1/19	日	河原町教会総会 10時半ミサ後
1/26	日	村上透磨神父様霊名のお祝い 10時半ミサ

お 知 ら せ

◇エレベーター設置、会館配水管工事修築特別献金は12,558,677円(10月13日現在)のご協力をいただきました。引き続きよろしくお祈りします。

◇9月16日(月)に行われた京都カトリック混声合唱団主催によるチャリティーコンサートの収益金は、東日本大震災復興支援として30万円、ユスト高山右近列福祈念献金として25万円がそれぞれ贈られました。

◇河原町教会への巡礼 9月23日、京都教区山城ブロック信仰年行事として、山城ブロック(青谷、宇治、精華、田辺、八幡教会)の福岡神父、エクソール神父をはじめ、約80名の方が河原町教会を訪れました。11時からミサがささげられ、花井神父の講話後、ヴィリオンホールで交流会(昼食、分かち合い)が行われました。



山城ブロックの皆さん

選挙管理委員会からのお知らせ

2014年度河原町教会役員選挙は、任期満了による2名の退任に伴い、次のとおり行われます。

選挙公示	11月3日(日)
被推薦者の受付締切	11月17日(日)
投票	11月30日(土)・12月1日(日)

河原町教会 ミサの時間

日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

12:00 (英語)

月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

信仰の学びのお知らせ

◇信仰入門講座◇

(1F 集会室、3F 応接室)

火曜日 10:00 花井拓夫神父 (1F)

19:15 一場修神父 (1F)

水曜日 10:00 村上眞理雄神父 (1F)

19:00 花井拓夫神父 (3F)

木曜日 15:00 花井拓夫神父 (3F)

金曜日 15:00 シスター藤田智子 (3F)

19:15 村上透磨神父 (1F)

鶴山進栄神父の個人講座をご希望の方は教会事務室にご相談ください。

◇信徒養成講座◇

(1F 集会室)

北村善朗神父「秘跡を学ぶ」

12月19日(木) 14:00

テキスト:『カトリック教会のカテキズム要約』

◇聖書通読会◇

(1F 集会室)

毎週金曜日 14:30~16:00

旧約聖書、新約聖書をグループで輪読しながら全巻を読む集いです。

◇レクチオ・ディヴィナ◇

(都の聖母小聖堂)

指導司祭 鶴山進栄神父

毎月第3火曜日 10:30

参加ご希望の方は、事前に教会事務室までお申し込みください。※10:00からのミサは、どなたでも参加できます。